

ホセ・グアダルーペ・ポサダコレクション



点数 593 点以上 コレクション価格 お問い合わせ下さい。(海外発注)

《概要》

骸骨 53 点 (40×30cm) 宗教 30 点 (40×30cm) 小冊子 (14×9cm) 147 点

他に 20×30cm サイズ 264 点等が含まれる。

* ご購入のご検討のために、作品図版をインターネット上でご覧いただけます。

下記のアドレスをクリックしてください。

<http://picasaweb.google.co.jp/galerialibro/PosadaCollection1?feat=directlink>

<http://picasaweb.google.co.jp/galerialibro/PosadaCollection2?feat=directlink>

<http://picasaweb.google.co.jp/galerialibro/PosadaCollection3?feat=directlink>

■ホセ・グアダルーペ・ポサダ (1852 年 2 月 2 日メキシコ・アグアスカリエンテス生まれ) は、青年期にトリニダ・ペドロソ Trinidad Pedroso の工房に入り、リトグラフ、彫版技法を習得し、《El Jicote》紙で政治風刺画を制作する。その後、《Nuevo Siglo》、《La Patria Ilustrada》、《El Padre Cobos》などの大衆紙に寄稿する。ポサダの知られている作品の多くは、出版者・編集者の Antonio Vanegas Arroyo の協力で制作されている。1896 年にポサダは、Antonio Vanegas Arroyo の出版社の専属作家となる。1913 年 1 月 20 日没。生涯に三万点の作品を残していると言われている。■ポサダの作品描写には革命性と芸術性とを具えている。ポサダが一連の描写を作り上げた中で、メキシコの文化やメキシコ系アメリカ文化に見かける伝統儀式「死者の日」との関係は特に強い。それは政治的社会的な意味を持つばかりでなく、作品としても芸術性を持っている。

■様々なメキシコ左翼勢力、特にメキシコ革命思想のマゴニスタの下に集まったアナーキストグループを扱った作品は、メキシコ革命の重要な遺産となっている。ポサダがディエゴ・リベラや Taller Gráfica Popular の作家たちに与えた影響は、計り知れない。■ポサダ作品を所蔵している主な団体として、Getty Museum (500 点未満)、Stanford University (約 900 点)、University of Southern California (約 500 点)、Library of Congress (米国議会図書館)、University of New Mexico (約 400 点)、University of Hawaii、Tulane University などがある。■今回紹介するコレクションはオリジナルを含めた約 593 点はポサダの作品を幅広く集めています。(ページ端の破れ、紙魚、変色、孔あきあり。)